

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [大牟田市立天領小学校] 担当教諭名 [長塩 里音・森 洋祐] (5年1・2・3組 81名)

相手国・地域 [メキシコ]

海外学校名 [COLEGIO FORMUS] 担当教諭名 [Sergio Moreno / Nancy Campos]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイル	23

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	コロナに負けない豊かな世界と海
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	コロナ禍でも手を取り合い、できることを考えながら豊かな環境を共に守っていくこと。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> お互いの状況の違いがある中の協働学習で、より相手意識をしっかりと持ちながら取り組めた。 メキシコという国について知り、離れていても共に世界を守るために協力することの大切さを学べた。 	<ul style="list-style-type: none"> よりこまめな報告をし合えるとよかった。 共通の課題やテーマについて考え、交流する時間が少なかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> メキシコの公害などの課題を知り、メキシコも豊かなだけではないのだと知れた。 海などの自然を守るためには、メキシコなどの国々と協力しなければならないのだと知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身も実際にメキシコの学校や状況について交流の中で知ることができて、世界とのつながりをより身近なものとして感じられるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	8月 9月	自己紹介動画作成 (地域紹介) →相手校の自己紹介画像を見る	・交流していくことへの実感 ・見てもらうこと、作ってもらうことへの喜び	総合6
共有 テーマ学習	10月	世界のコロナの状況や自然環境の状況調査	・事実への驚き ・今、学校に来られていることのありがたさの実感	総合4
融合 メッセージ作成	11月	壁画の構成を考える	・イメージを表現する難しさ ・相手意識の高まり	総合4
創造 壁画制作	11月 12月	壁画制作	・大きな壁画を描ける喜び ・壁画制作のやりがい ・メキシコへの送付、全面完成への期待	総合8
評価 振り返り 自己評価	3月	作品鑑賞会	・完成の喜び、達成感	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	メキシコのイメージがぼんやりあるだけだったのが、メキシコの国について調べたり、お互いの国や地域の様子を紹介しあって交流したりする中で、メキシコの文化と、自分たちの文化について知ることができた。お互いの文化の違いを知ることで、改めて日本のよさを感じることもできた。メキシコの煙による公害などの課題や、コロナによる影響などについて知ること、自分たちとの状況の違いを感じ、相手のことを理解しながら取り組みを進めていこうという意識も高まった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	コロナによる影響や環境問題のある世界の現状を知り、なぜそうなったのかを考えたり、調べたりするなかで原因を捉え、それをもとに自分たちにできることや伝えたいことを考えた。壁画を通して世界の全ての人に伝わるメッセージを発信しようという意識があった。
主体的に考え行動する力	4	各クラスから実行委員を募り、計画やクラスでの話し合いの進行を行った。課題に対して行動の必要性を感じ、自分たちでできることを考えて進めることで、意欲を持って主体的に行動することができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	自分たちの状況や考えを整理して伝えたり、相手国の状況や課題を知ったりすることで、自国だけでなく、世界全体で協力する必要性を感じた。離れていても共に支え合いながら生きるために、お互いにできることを考え、協力していくことが大切だと気づくことができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	共に活動できる喜びや、お互いのことを伝え合いたいという思いを持って動画作成やそのための準備を行うことができた。壁画という初めての表現方法でも、離れていても海で繋がる場所に暮らし、お互いに新型コロナウイルスの影響で生活が一変したなかでもお互いを応援し合う気持ちを形にすることができた。